**H３０　研究構想図**

**児童の実態**

・英語を話すことに自信がもてない児童がいる

・英語の表現は知っており、その授業時間内では使えるが、それ以外の場面で使いながらコミュニケーションを取ることが苦手である。

**改訂中央区教育振興基本計画**

**‐教育課程特例校**

**国際教育パイロット校として‐**

・「生きる力」を中心とした質の高い

教育の展開

・「学校力」の強化と教育環境の充実

による魅力ある学校づくり

・「社会全体」で支える子どもの健全

な育成

**常盤小学校の教育目標**

・上品で豊かな心と健康な身体をつくる

・勤労を尊び喜んで自分のつとめを果たす

・互いに尊重し合い協力して平和な社会を

きずく

**研究主題**

自分の思いを英語で発信できる児童の育成

－「習う・慣れる・試す」の学習過程を通して－

**研究仮説**

「習う・慣れる・試す」の学習課程により英語の基礎が定着し、伝えたいという意欲をもち、教育活動のさまざまな場面で試していけば、児童は英語が伝わることに自信をもち、積極的に英語で自分の思いを発信するであろう。

系統的・・・カリキュラム作成、CAN-DOリスト作成

継続的・・・英語を話す機会を有効的に使う

習う　・・・語彙・表現を増やす　→そのための手だて（練習の回数、効果的な導入）

慣れる・・・語彙・表現の定着　　→場の設定（Quick Time、 Heart to Heartなど）

定着をはかるための手だて

試す　・・・学んだ表現を使う・生かす（積極的に使おうとする）

→機会の設定（イベント、行事）

**研究内容・研究の重点**

●指導の流れの確立（習う・慣れる・試す）のうち、『試す』の

充実・意識的設定を図る。

●全教育活動の中での英語の活用（他教科、行事との関連）

●伝えたいという意欲をもたせるための、必然性のある言語活動の設定

●クイックタイムと英語の時間を活用した基礎の定着

●評価・Can-do リストの見直し

**目指す児童像＝英語で発信できた姿**